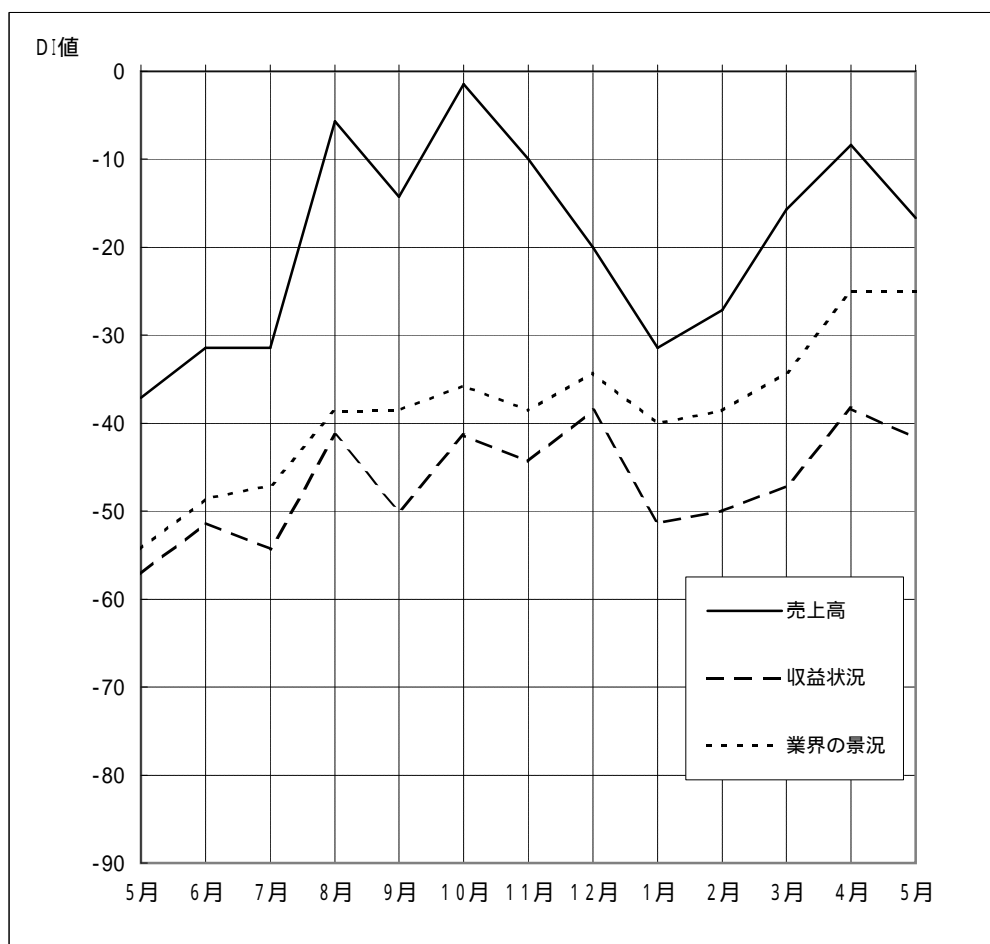


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成15年5月～平成16年5月

単位:ポイント



	h15					h16							
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
売上高	-37	-31.4	-31.4	-5.7	-14.3	-1.4	-10.0	-20.0	-31.4	-27.1	-15.7	-8.3	-16.7
収益状況	-57	-51.4	-54.3	-41.4	-50.0	-41.4	-44.3	-38.6	-51.4	-50.0	-47.1	-38.3	-41.7
業界の景況	-54	-48.6	-47.1	-38.6	-38.6	-35.7	-38.6	-34.3	-40.0	-38.6	-34.3	-25.0	-25.0

5月のDI値をみると、前月より「売上高」、「収益状況」の2項目で悪化した。「売上高」は前月より8.4ポイント悪化し、マイナス10%台に推移し、「収益状況」においては、3.4ポイント悪化し、マイナス40%台に推移した。「景況」は前月と同様であった。ここ3ヶ月の傾向値をみると持ち直しの動きが見られていた中小企業の業況は、足踏み状態である。

組合の特記事項からは、全体的に製造業では、材料価格の高騰が製品価格に転嫁できず経営を圧迫しているとの報告が多かった。だが、「鉄鋼・金属」、「一般機器」で受注や輸出好調の報告も多かった。また、全体的に非製造業において、客数が少なく景気の回復を実感できないとする報告が多かった。

中小企業の景況は、「鉄鋼金属」、「一般機器」等一部の製造業を中心に持ち直しに向けた動きが見られるものの、それ以外の業種では依然として厳しい景況が続いている。